



大東市南部地域コミュニティバス

2021.8
Vol. 07

News Letter



南部地域コミュニティバス利用者数はもうすぐ1万人に達します。

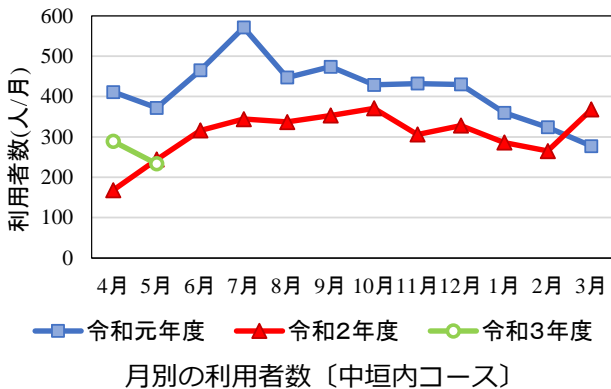
しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用が低迷しています。

平成31年3月の運行開始から約2年4か月が経過しました。

この間、中垣内コースは約9,300人の多くの方にご利用いただきました。

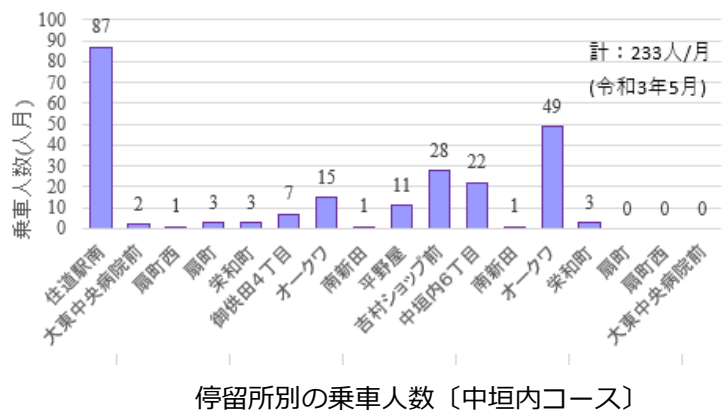
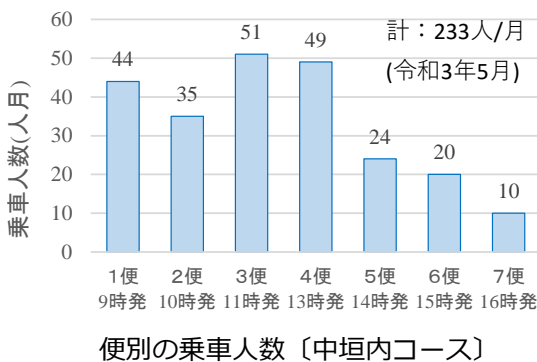
「しっかり換気！目・鼻・口は触らない！話すなら必ずマスクを！」を守ればバス利用時の新型コロナウイルスの感染リスクはほとんどありません。

今後も、安心してバスをご利用ください。



年度		① 令和元年度	② 令和2年度	②/①
利用者数	(人/年)	5,776	4,568	0.79
運行経費	(円/年)	7,171,500	7,545,510	1.05
料金収入	(円/年)	631,500	486,900	0.77
公的資金投入額	(円/年)	6,540,000	7,058,610	1.08
一日当り利用者数	(人/日)	41.0	31.1	0.76
一人当り運行経費	(円/人)	1,242	1,652	1.33
一人当り公的資金投入額	(円/人)	1,132	1,545	1.36

料金収入と運行経費 [中垣内・朋来コース計]



毎週 月・水・金 曜日の平日に運行
予約なしで どなたでも ご利用いただけます。

2年間の運行評価

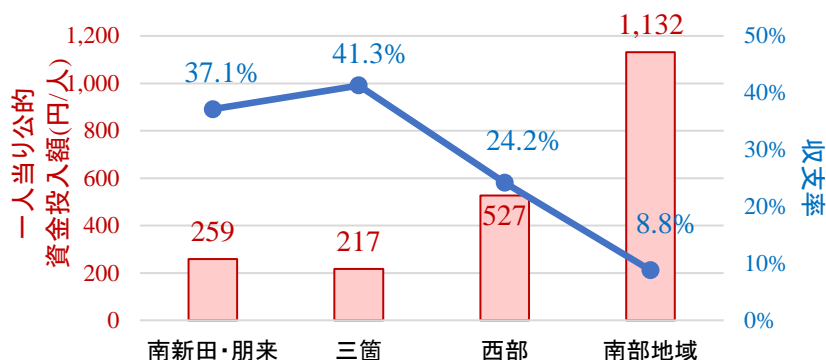
- 令和元年度、2年度の利用状況より、南部地域コミュニティバスの運行評価を行いました。
- 令和2年度においては、コロナ禍の影響もあり、一日当り利用者数や収支率が運行見直し議論開始条件よりも低い状況にあります。
- 一方、地域からの強い運行要望とともに地域の皆さまと利用促進に取り組んでいます。また、代替交通手段もないことから、南部地域コミュニティバスは【運行の継続・利用促進】と評価しました。

南部地域コミュニティバスの運行評価

評価指標		合計 〔中垣内 + 朋来〕	
運行見直し 議論開始条件	地域からの強い要望がある		あり
	関連計画への貢献度		あり
	一日当り利用者数 (40人/日以上)	令和元年度	41.0人
		令和2年度	31.1人
	収支率 (10%以上)	令和元年度	8.8%
令和2年度		6.5%	
利用促進の取組み			あり
代替地域公共交通手段活用可能性			なし
評価			運行の継続・利用促進

※中垣内コースと朋来コースは一体的に運行しているため、運行評価も一体的に行います。
 ※この評価は、大東市が令和3年3月に定めた「地域公共交通導入の手引き」に基づいて実施しています。評価の結果は目安であり、この結果からすぐに運行の休廃止を行うものではありません。

【参考図】現行コミュニティバスの現状（令和元年度）



南部地域コミュニティバスは、乗客定員9人の小型車両で運行しています。そのため、他コースと比較し収支率が低く、一人当り公的資金投入額も多い状況にあります。

※南新田・朋来コース、三箇コース、西部コースは乗客定員35人のバス車両で運行しているため、収支率は25%以上を運行見直し議論開始条件として設定しています。

今後の取組について

- 南部地域コミュニティバスの運行を継続するため、「利用者数の増加」や「収支率の改善」を図る必要があります。
- 地域の皆さまと一緒に、更なる利用促進に取り組むとともに、地域や利用者の皆さまからのお声をもとに運行の改善を検討していきます。